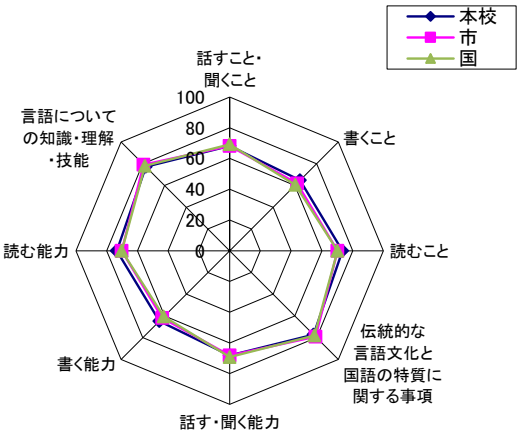
宇都宮市立宝木小学校第６学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

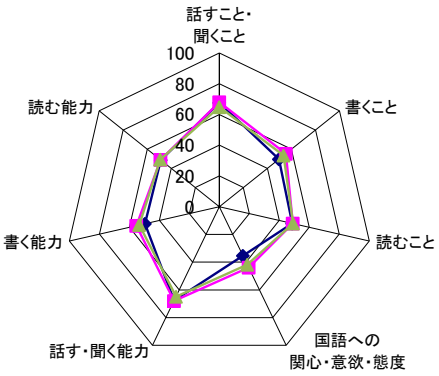
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	68.2	68.2	69.2
	書くこと	64.7	62.0	60.6
	読むこと	73.4	70.2	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.2	79.1	78.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	68.2	68.2	69.2
	書く能力	64.7	62.0	60.6
	読む能力	73.4	70.2	70.2
	言語についての知識・理解・技能	77.2	79.1	78.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	67.7	68.0	64.9
	書くこと	49.6	55.3	53.4
	読むこと	48.6	49.0	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	35.4	43.9	41.7
	話す・聞く能力	67.7	68.0	64.9
	書く能力	49.6	55.3	53.4
	読む能力	48.6	49.0	49.2
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○平均正答率は，A・B問題ともに全国平均を上回った。「話し合いの流れを理解する」問題の正答率は，全国平均よりも5ポイント高い。 ●B問題の「目的や意図に応じて，話の構成や内容を工夫し，場に応じた言葉遣いで自分の考えを話す」問題の正答率は，全国平均より3．4ポイント，県平均より4．3ポイント低い。	・国語科を中心に，各教科，領域の中で話し合いの活動を多く取り入れる。その際，自分の考えと比較しながら聞いたり，意見を明確に述べる場を設定したりして指導していく。 ・聞くことの学習の機会を増やして，ポイントをつかんで話を聞けるように指導していく。
書くこと	○A問題は，全国平均より4．1ポイント上回っている。「手紙の構成を理解し，後付けを書く」問題の正答率は，全国平均より5．8ポイント高い。 ●B問題は，市の平均より5，7ポイント低い。特に，「目的や意図に応じ，必要な内容を整理して書く」問題の正答率は，県の平均より5．4ポイント低い。また，書く問題では，無回答の割合も県や全国より高い。	・いくつかの条件を満たしながら，決められた字数内で自分の意見を書き表すことができるように，テーマに沿った文章を書く指導を継続して行う。 ・示された条件を全て満たすことができなくても，自分の意見や考えを書く時間を設定し，書くことに慣れさせるとともに，具体的に書き方の指導を継続していく。
読むこと	○A問題は，全国平均より3．2ポイント上回っている。「俳句の情景を捉える」問題の正答率は，全国平均より2．7ポイント高い。 ●B問題の「物語を読み，具体的な叙述を元に理由を明確にして，自分の考えをまとめる」問題の正答率は，全国平均より10．4ポイント低い。また，無解答の割合も市や県，全国よりも高い。	・読み取り指導を行う中で，全体の場面の様子の理解や移り変わり，登場人物の心情の変化を考えさせる指導を継続して行う。 ・朝の読書や家庭での読書を推進し，量，質ともに内容を充実させていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○「ことわざの意味について理解し，自分の表現に用いる」問題の正答率は，全国平均より4．6ポイント，県の平均より4．4ポイント，市の平均より2．6ポイント高い。 ●漢字の読み，書きについては，どちらも正答率が低かった。	・漢字ドリルやプリントを活用し，漢字を正しく書いたり読んだりする指導を継続する。 ・言葉の意味調べや熟語調べ，ことわざ調べができるような時間を意図的に設けていく。 ・漢字を読む力を向上させるために宿題等で音読を推進するなど，音読を重視した指導をしていく。